

1月17日のウクライナ情報

安齋育郎

●露 調査委員会;ウクライナのナショナリストに対し 2,000 件の刑事訴訟を提起 (2023年1月15日)

調査委員会は、ウクライナの民族主義者に対する 2000 件以上の刑事事件を起こし、ドンバスの市民 11 万 8000 人が被害者として認識されている。

ルハンスク人民共和国のレオニード・パセチク代表代行は、自身のテレグラムチャンネルでこのように書き、調査委員会の 12 周年を祝福した。

彼のデータによると、600 人以上のウクライナの法執行官が刑事事件に巻き込まれているようだ。

パセチク氏は、この 8 年間、国際人権機関や司法機関は、民族主義者の行為によって被害を受けた市民の意見を無視して、キエフの行為の法的評価を回避してきたと付け加えた。

「このような状況下で、ロシア調査委員会はドンバス住民にとって、戦争犯罪者の正義と処罰を求める希望となった」と LNR 代表代行は述べた。



●タチアナ・モスカルコワ;ウクライナにおけるロシア軍の拷問の問題を解決する決意 (2023年1月14日)

タチアナ・モスカルコワは、ウクライナの露兵士の拷問の問題を解決する。彼女は、キーウは暴力の禁止に関する条約に違反していると。ウクライナのオンブズマン、国連、赤十字社は、捕らえられたロシア兵に対して拷問を行わないようキーウに要求すべきであると、ロシア・モスカルコワ人権委員会で報告した。

タチアナ・モスカルコワ(Tatyana Moskalkova) は、ウクライナにおけるロシア軍の拷問の問題を解決するつもりである・ URA.ru アンナ・クリモワ

タチアナ・モスカルコワによると、キーウは暴力の禁止に関する条約に違反している。

ウクライナにおけるロシアの特別作戦

ウクライナのオンブズマン、国連、赤十字社は、捕らえられたロシア兵に対して拷問を行わないようキーウに要求すべきであると述べた。これは、ロシアのタチアナ・モスカルコワ人権委員会によって報告された。

「ウクライナ最高議会人権委員会、国連拷問禁止委員会、ヨーロッパ拷問防止委員会、国連人権高等弁務官、赤十字国際委員会に対し、直ちに1949年のジュネーブ条約のウクライナ側の遵守」書きました Moskalkova のテレグラム チャンネル。彼女によると、この条約は拷問の使用を禁止している。

タチアナ・モスカルコワは、捕らえられたロシア人戦闘員の親戚から資料を受け取り、そこでいじめられていたと述べた。

「これまでに何度も起こったように、ロシア国防省とロシア連邦保安庁(FSB)とが協力して、彼らを返還できると信じている」と彼女は強調した。

彼女はまた、これについて法執行機関に連絡するつもりであると述べた。

※注:ジュネーブ諸条約(ジュネーブ四条約)

ジュネーブ諸条約、戦争犠牲者保護条約ともいうのは、1949年にスイスのジュネーブで締結された4つの条約を指す。19世紀後半以来の戦争犠牲者の保護強化のための、いわゆる赤十字諸条約を統一し、文民の保護に関する条約を加えたもので、第二次世界大戦後の慣行を取り入れ、人道面に関する戦争法一般の立法化を行った。

ジュネーブ条約(赤十字条約、1864年、1906年・1929年改正)と、その追加条約である「ジュネーブ条約の原則を海戦に応用する条約」(1899年、1907年改正)、「俘虜の待遇に関する条約」(1929年)を統合・整理する形で制定されたものである。1977年に2つ、2005年に1つの追加議定書が加えられた。

第三条が捕虜の待遇に関する1949年8月12日のジュネーブ条約(第三条約)(捕虜条約)(Geneva Convention relative to the Treatment of Prisoners of War of August 12, 1949)

出典:Wikipedia



【追記】ロシアの人権オンブズマン・モスカルコワは「ウクライナ議会の人権委員、国連の拷問禁止委員会、欧州拷問防止委員会、国連人権高等弁務官、赤十字国際委員会が、ウクライナ側に対し、拷問、暴力、人間の尊厳を傷つける行為を禁止する1949年のジュネーブ条約の遵守を直ちに要求するよう求める」とテレグラムで述べた。

捕虜となったロシア軍人の親族に、「匿名の非人間」のアカウントから捕虜への虐待を示す映像が送られてきたという。「将来、ナチスを裁くための証拠がまた一つ増えた」とオンブズマンは語った。

ウクライナの「匿名の非人間」は軍人の一人の身代金として母親に2万5千ドルを要求したという。

ビデオでは、2人の捕虜のうち1人がビデオリンクを通じて家族に話しかけながら、殴られ、侮辱され、兵士の家族が2万5000ドルを支払わないなら自分は死ぬという内容の用意した文章を読み上げさせられている。

オンブズマン・モスカルコワはまた、別の捕虜が裸で地面に座り、頭から袋を被り、周囲に血痕がある写真も掲載した。

●ポーランドはレオパルドをウクライナに供給できない(2023年1月14日)

ポーランドは、ウクライナ軍に最大14両の提供を決めたが、譲渡の前提条件として、製造元であるドイツからの輸出ライセンスが必要であることが判明した。

ドイツ内閣ヘバストレイト報道官によるとレオパルドの供給要請はドイツ政府には届いていないとのこと。

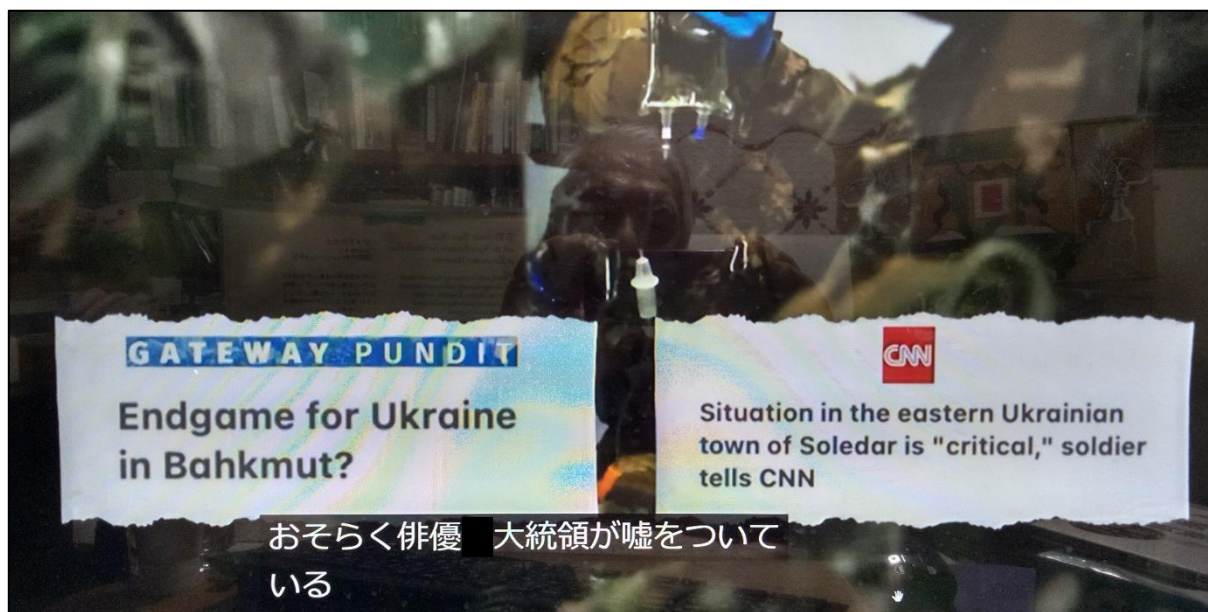
また、同盟国からドイツが戦車を自前で供給するよう要求されたことも知らないという。
ポーランドがベルリンに堂々と WWII の賠償金を要求している事も、ベルリンが「ポーランドからの
圧力」に屈しない理由の一つであろう。



●ウクライナ戦線最新情報(Real America, ダグラス・マクレガー、2023年 米国と世界の地政学分析。

ロシア・ウクライナ紛争最新情報をダグラス・マクレガー大佐と更新。

<https://youtu.be/8Zjtn82nQ1k> ※字幕機能を活用してご覧下さい



●バイデン大統領補佐官が自殺(2023年1月15日)

バイデンの大統領補佐官がワシントン郊外の3階建ての建物の外で死亡しているのが発見された。
側近であるフランシス・アンダーウッド氏の遺体が今朝、近隣住民によって発見され警察に届けられ
た。

死亡の主な理由は自殺でされている。またアンダーウッドはガレージから秘密文書を発見した一人
…。



※あるツイッターのコメント:あれでしょ！わかりやすいですね！☺やらかしますね！

●さらに5つのバイデン機密文書を自宅で発見(2023年1月14日)

バイデン氏のデラウェア州の自宅ですらに5つの機密文書が発見されたとホワイトハウスの弁護士が発表した。

デラウェア州ウィルミントンのジョー・バイデン大統領邸で、3回目の機密文書が発見されたと、大統領側の弁護士が1月14日に発表した。

大統領特別弁護人リチャード・ザウバーは声明の中で、木曜日(12日)の夜、バイデン氏の自宅からさらに5ページの機密文書が発見され、合計6枚の機密文書が回収されたことを明らかにした。

ザウバーによると、バイデンの個人弁護士は水曜日(11日)にバイデンの自宅で一つの機密文書を確認したとき、それらの資料を閲覧するのに必要なセキュリティクリアランスがないため、すぐに追加文書の検索を止めたという。

「私はセキュリティクリアランスを持っているので、大統領の個人弁護士が水曜日に見つけた文書を司法省に提供するために、木曜日の夜にウィルミントンに行きました」とザウバーは述べています。「同行した司法省の職員に渡している間に、一緒にあった資料の中からさらに5ページ、合計6ページの分類記号が発見された。同行した司法省の職員はすぐにそれらを手に入れた。」



米下院議長ケビン・マッカーシー:「トランプ前大統領の所持していた文書が見つかったことは誰も

が知っている。それらは公開されている。バイデンが所持していた文書の写真はどこにある？」
アメリカ人と一部の下院議員はバイデンを信用しなくなった、と同議長は述べた。



●YouTube 削除: 2022 年は「嘘」の年だった～タッカー・カールソン- 2022 was the year of lying (日本語字幕つき、2023 年 1 月 6 日)

<https://www.nicovideo.jp/watch/sm41612739>



●タッカー・カールソン「本当にガッカリだ、どんだけバカなんだよ」(2022 年 10 月 27 日)

中間選挙と大統領選をトランプとプーチンが共謀して盗む、という陰謀論をいまだに言っているヒラリー・クリントン

ロシアとの核戦争を支持する共和党員

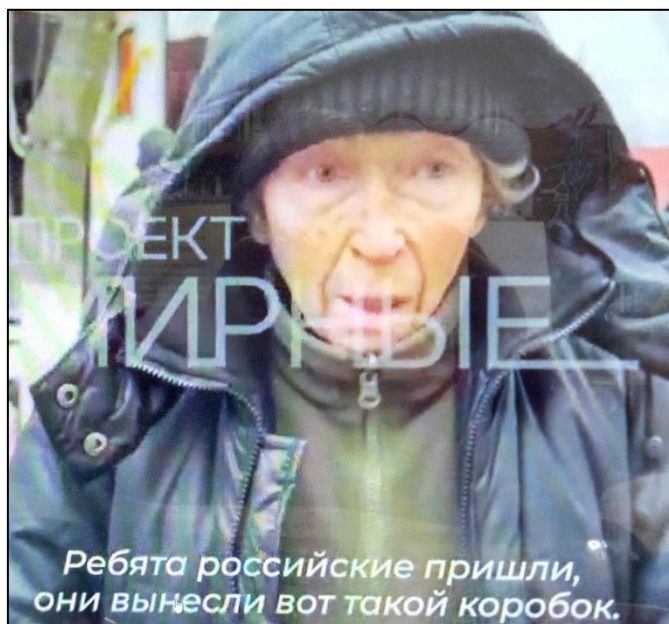
一方だけが選挙結果に疑問を呈することが許される状況にブチギレ



●紛争地帯から DPR に避難したソレダールの住民は、どうやって脱出したかを語る (2023年1月13日)

「ウクライナ人は私たちのソレダーを完全に破壊しました。これは彼らの手仕事です。彼らは家を襲った。戦車は夜に運転しました。この耳鳴りはおそらくしばらく続くでしょう。ひどい」

<https://twitter.com/i/status/1613897595465912333>



●ものは言い方?(2023年1月16日)

※安齋注:ウクライナのミサイルがアパートを破壊したんだが、モノは言い方?

ゼレンスキー大統領顧問レストビッチはアパートに落ちたロシアのミサイルは、ウクライナによって撃墜されたと言った。

彼はその後フェイスブックに最終的な責任はロシアにあると書き、「誰もウクライナを責めないだろう。我々のミサイルがポーランドに落下し、2人のポーランド人が死亡したときに非難されなかったように」と付け加えた。

<https://twitter.com/i/status/1614812551266832387>



●ソレダの戦い後を展望するプーチン(2023年1月16日)

ウラジーミル・プーチンは、ウクライナにおけるロシアの「軍事作戦」が「前向きな傾向」を示していると述べた。ロシア大統領は、ウクライナで進行中の戦争について話しながら、「すべてはロシアの防衛幹部が定めた計画の枠内で展開している」と述べた。プーチン大統領は国営テレビ「ロシヤ 1」で、ソレダ「勝利」の後、さらなる利益を得ることを望んでいる。

<https://youtu.be/zdZJArymYyw>



●アメリカのニューヨークの反戦デモ(2023年1月16日)

反戦デモ隊はニューヨークで集会を開き、NATO とアメリカのウクライナへの軍事支援に反対を表明した。

彼らは、戦争資金の即時停止と、その資金を教育や住宅などの社会サービスに再配分することを要求した。

<https://twitter.com/i/status/1614810869283840000>



「NATO をなくせ、戦争やめよ」「交渉:イエス、エスカレーション:ノー」

●ウラジーミル・プーチン国防省への演説全文(2023年1月15日)

年末には、プーチン大統領が国防省の会合に出席した。彼は過去 1 年間を振り返り、2023 年の軍事目標を設定した。これが 12 月 21 日のスピーチの完全版です。

会合参加者各位

事実上すべての主要な NATO 諸国の軍事的可能性と能力が、今日、ロシアに対して積極的に使用されていることはよく知られています。

それにもかかわらず、私たちの兵士、軍曹、将校は勇敢にロシアのために戦い、設定された目標を一步一步達成しています。そして、これらの目標は、新しい地域を含むロシア連邦のすべての地域で確実に達成され、すべての市民の安全な生活が確保されます。わが軍の作戦能力は日々向上しており、確実にこのプロセスを強化していきます。

今日の戦闘で義務を果たしているすべての人に改めて感謝したいと思います。

タンカー、空挺部隊、砲手、自動小銃手、地雷除去員、送信員、パイロット、特殊部隊と防空部隊、船員、軍事地形学者、兵站専門家、ロスグヴァルディアの人員、その他の部隊の皆さんの戦いに感謝します。

私はこの比較を恐れていません、これらは大げさな言葉ではありません。1812 年の戦争(通称、ナポレオン戦争)、第一次世界大戦、または大祖国戦争(第二次世界大戦の独ソ戦)の英雄のように戦います。

私たちの戦闘員を勇敢に救い、しばしば命を危険にさらす軍医には一言。そして、解放された領土の民間施設の再建を支援するための、要塞、作戦地域の重要なインフラストラクチャのための軍事および民間の建設業者にも。

同時に、敵対行為は確かに特に対処する必要のある問題を引き起こしました。特に、私たちが何度か言及したものの。すなわち通信、自動化された軍隊と兵器管理システム、対砲兵戦術、目標指定などを意味します。

軍隊の建設と発展に使用しなければならず、使用するのは運用上の経験です。

今日の私たちの目標は、軍隊を近代化し、改善するためのすべての措置を実施することです。

これには特に注意したい。

私たちは、私たちに立ち向かうための特別な軍事作戦中に積極的に使用される NATO 軍と資産に関するすべての情報をよく知っています。

あなたはこれらすべてを持っており、私が言ったように、私たちの軍隊の建設のために、私たちの軍隊の作戦能力と特別なサービスを高めるために、これらすべてを徹底的に分析して使用しなければなりません。

私たちの部隊は、この特別作戦中に計り知れない作戦経験を積んだ。

私が言ったように、総参謀部の国防省の目的は、この経験を詳細に分析し、できるだけ早く体系化し、訓練プログラムやプロジェクトに含めることです。全体と必要な機器をユニットに供給します。

さらに、私が言ったように、シリアで私たちの部隊が得た経験のような特別な軍事作戦の経験は、軍事訓練のさらなる訓練の基礎となり、あらゆるレベルの演習と訓練の準備に使用されなければなりません。

彼らの側では、特別な軍事作戦中に際立った将校と軍曹は、優先的に新しい指揮所に昇進しなければ

ばならず、参謀のアカデミーを含む軍事学校とアカデミーに入ることによって幹部の最初の予備となります。

2番目のこととして、私は、政府、国防省の指導部、およびその他の機関に、特別に作成された調整評議会の枠組みの中で互いに非常に密接に連絡を取り合う必要があることに注意を喚起します。特に地域のリーダーや武器産業の代表者と。

インストラクターやエンジニアには、引き続き第一線での外出練習を期待しています。彼らは定期的にそこに行き、機器の操作に必要な修正を加えてくれます。私が言ったように、この実践が、武装と材料の戦術的および技術的特性を実際の状況でテストし、それらを改善し続けることを願っています。

全体として、関連する機関や省庁と実質的な作業を行う必要があります。何が完璧に機能し、何がチューンアップを必要とするかを確認します。エンジニアと科学者は見えています。

そして、このマシン全体が動作します。私たちが兵器や物資を完成させようとしていると言ったとき、私はこのプロセスについても言及していました。軍産委員会は、軍事産業、科学、および軍隊の間の相互作用の中心にならなければなりません。特に、軍の後方支援の観点から、当面および将来の任務を遂行する必要があります。私は、材料、弾薬、およびすぐ。

3番目のこととして、我々は引き続き、核トライアドの運用状態を維持し、完成させていきます。これは、私たちの主権と領土保全、戦略的平等、そして世界全体の力のバランスの主な保証です。

今年、戦略的核戦力における近代兵器のレベルはすでに 91%を超えています。ロシアの戦略ミサイル軍(RVSN)の連隊は、アヴァンガード極超音速弾頭を備えた最新のミサイルで再武装しています。

サーマット大陸間ミサイルは間もなく運用に入る。[時間的に]右へのシフトが確実にあることはわかっています。それによって私たちの計画が変わるわけではありません。部隊は引き続き Iars ミサイルを受け取ります。

今後も世界に類を見ない極超音速ミサイルの開発を進めていきます。2023年1月の初めに、アドミラル ゴルチコフ フリゲートは、世界で比類のない Tsirkon 極超音速海対地ミサイルを搭載して就役します。

我々は引き続き最新の兵器で戦略部隊を武装させます。繰り返しますが、計画されたすべての計画は確実に実現されます。

次に、現代の防空システムの活動分野での任務中に、戦闘機や爆撃機を含む航空宇宙軍の運用能力を高めることが重要です。

現在の目標は、戦略、偵察、攻撃、およびその使用方法を含め、ドローンを完成させることです。

特別軍事作戦の経験は、無人機の使用が至る所にあることを示しており、この兵器は戦闘部隊、セクション、連隊、大隊に存在しなければなりません。ターゲットをできるだけ早く検出し、攻撃するための情報をリアルタイムで送信する必要があります。

ドローンは相互にリンクされ、共通の偵察ネットワークに統合され、スタッフと司令官との伝送チャネルが保護されている必要があります。

短期的には、各戦闘員はドローンから送信された情報を受信する必要があります。これこそが私たちが目指すべきものです。技術的には非常に短期間で実現可能であり、実際には今です。スタッフの材料や技術設備を開発する際には、これに特に注意を払うようお願いします。

私たちは、戦場を取るに足らないものがあるはずがないことを知っています。それらに特別な注意を払う必要があります。[国防省]がこれを行っていることは知っていますが、もう一度強調したいと思います。

医療キット、食料、配給、ユニフォーム、ブーツ、ヘルメット、防弾チョッキ - これらはすべて、最新かつ高レベルでなければなりません。部隊には、暗視装置、高品質の照準器、新世代の狙撃ライフルを提供する必要があります。

すべてをリストするわけではありませんが、最も重要なことを言います。戦闘機が必要とするものはすべて、最新で実用的で信頼できるものでなければならず、供給は実際のニーズに対応している必要があります。標準が時代遅れになった場合、それらは迅速に変更する必要があります。

国防省、国防参謀総長、ここに代表されているすべての司令官の注意を喚起したいと思います。資金の上限はありません。国、政府は軍隊が求めるものすべてを与えます。答えがきちんと定式化され、必要な結果が得られることを願っています。

ドローンの話に戻りますが、私たちはユニークな水中ドローンの開発において良い経験を持っていることに注目したいと思います。業界には、人工知能を含む最高の戦術的および技術的特性を備えた幅広い空中および地上ドローンを作成するために必要なすべての機能があることを私は知っています。さらに、近代的な攻撃手段の兵器庫の拡大に関する問題を全体として解決しなければなりません。

5番目として、あらゆる状況下での部隊管理の回復力と運用性を確保するために、管理と通信システムを完成させる必要があります。これを行うには、意思決定のあらゆるレベルで人工知能技術をより積極的に使用する必要があります。経験が示すように、特にここ数か月で最も効果的なのは、自動モードで迅速かつ実用的に機能する武器です。

次に部分的な動員は、問題を浮き彫りにしたことはよく知られていますが、これは迅速に解決しなければなりません。必要な措置が講じられていることは承知していますが、それでも注意を払い、このシステムを現代的な方法で導入する必要があります。

とりわけ、軍事委員会のシステムを近代化する必要があります。これは、情報のデジタル化、地方および地域当局とのやり取りに関係しています。民事・国土防衛の組織体制、産業界との交流などを刷新する必要があります。

特に、動員部隊を配備するための武器、軍事装備、物的資源の蓄積と保管のシステムを改善する必要があります。

300,000 人が軍隊に召集されました。それらのいくつかは、すでに運用の領域にあります。国防大臣と参謀総長が報告したように、150,000 人が軍の多角形で訓練を受けており、これは作戦を実行するのに十分な予備です。

現在作戦に使用されていないのは事実上戦略予備軍ですが、これらの個人は必要な訓練を受けています。

親愛なる同僚へ

心のこもった訴えから軍隊を助け、車、追加の物資、装備、暖かい服を前線に送ってくれた市民に心から感謝します。病院の負傷者に手紙や贈り物を送ります。特定のセグメントの防衛省が必要なものをすべて提供したとしても、人々に感謝し、頭を下げなければなりません。

私は国防省に対し、批判に耳を傾け、適切かつタイムリーに対応することを含め、すべての民間のイニシアチブに慎重に対処するよう求めます。確かに、このような大規模で複雑な作業では必然的に発生する問題を見ると、人々の反応は感情的になる可能性があります。しかし、既存の問題を隠さず、その解決に貢献しようとする人々の声に耳を傾けなければなりません。

防衛省は、国民との対話を常に行っていくものと確信しております。私たちの強さは、今日のように常に軍と人民の団結にあります。

ご清聴ありがとうございました。

